

学校図書館支援センターだより



新居浜市教育委員会学校教育課
新居浜市一宮町一丁目5番1号
TEL (0897)65-1301

2021年 第75回「読書週間」について

期 間

令和3年10月27日～11月9日 ※文化の日を中心に2週間

標 語

『最後の頁を閉じた 違う私があった』

テーマ

(1) 国民すべてに読書をすすめる運動

「秋・読書週間に、ぜひ、一冊の本を」が活動の原点です。「読書週間」は、読書の楽しさを伝え、すべての世代の人たちに本に親しむきっかけをつくっていただくためにあります。多くの方が書店や図書館で一冊の本を手にとってみる、そんな展示や行事を期待しています。

(2) とくに青少年に読書をすすめる運動

いつの時代も「子どもが本を読まなくなった」といわれてきました。近年は、受験戦争に加え、映像や電子メディアなどの発達で、ますます子どもたちの「読書」の時間がせばめられています。しかし、どんなメディアの時代でも、それを動かす主役が人間である以上、活字文化はすべてのメディアの基礎です。とくに、幼少時から青少年時における本とのつきあいが重要という認識のもとに、この運動を進めています。

(3) 読書グループの結成促進

グループ読書は読書の楽しみ、大切さを広めることで深い意義をもちます。公益社団法人 読書推進運動協議会は、「読書週間」の期間中に、「野間読書推進賞」と「全国優良読書グループ表彰」を実施し、全国の読書グループを応援しています。

(4) 家庭文庫・地域文庫・職場文庫の充実

読書は身近な場所に本が豊かにあることが必要です。各地域の公共図書館が充実し、読書グループや家庭文庫、地域文庫が数多く作られること、また、図書館や文庫を支える地域の書店の活躍が、本の文化を支え、ひいては日本文化の発展に寄与することと信じています。

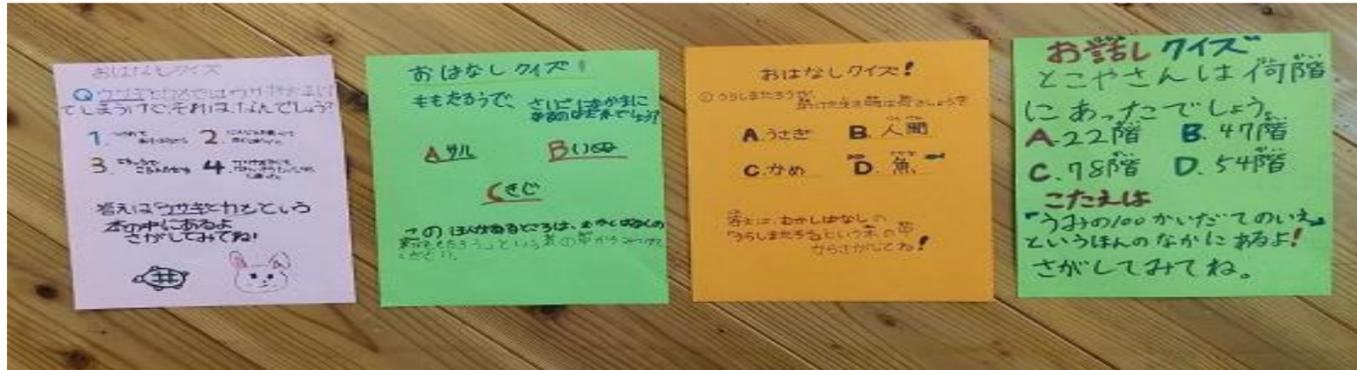


2021 第75回 読書週間ポスター

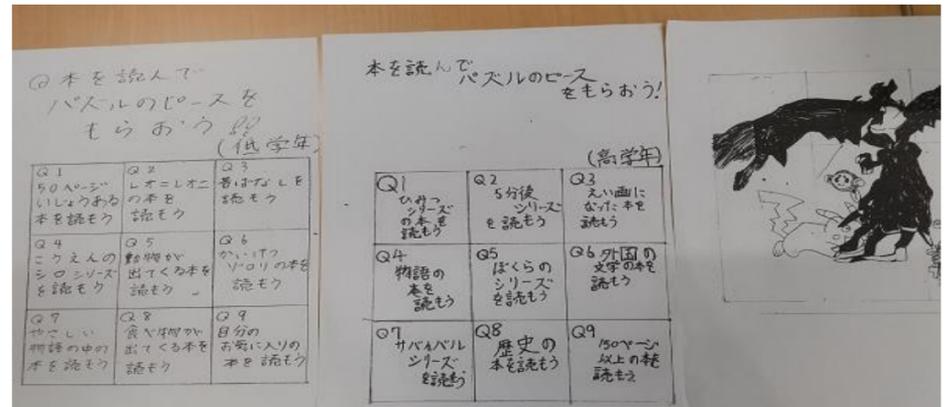
新居浜市の小学校における読書週間の取組

新居浜市内の小学校では、主に図書委員会が中心となって、次のような活動を実施しています。この活動をとおして、子どもたちが様々なジャンルの本を手に取り、意欲的に読書活動に取り組み、読書の楽しさを味わえるように工夫しています。

<p>お話クイズ</p>	<p>図書委員会で本の内容に関する問題を作り、図書館や掲示板に掲示し、応募しています。正解者には、しおりやイラスト等の賞品を渡します。</p>
---------------------	---



<p>読書ビンゴ</p>	<p>9分割したパズルにいろいろな内容の本を書き、1つのピースに当てはまる本を読めばシールをはり、全部読めば1枚のパネルとなります。低・中・高学年別にパズルを作り、学年に応じていろいろなジャンルの本を読めるように工夫しています。</p>
---------------------	--



<p>本の題名あてクイズ</p>	<p>本の題名を隠し、本を読んで題名を考えて応募します。できるだけ子どもたちが読んだことのない本を選びます。</p>
-------------------------	--



<p>家 読</p>	<p>家族と一緒に読書に親しむ時間をつくります。</p>
-------------------	------------------------------

<p>給食放送を使って</p>	<p>先生方におすすめの本を紹介していただきます。また、図書委員による読書週間の紹介や取組を放送します。</p>
------------------------	--

<p>本の人気ランキング</p>	<p>低・中・高学年ごとに、ランキング上位の本を図書館に掲示し紹介します。子どもたちに来館を促します。</p>
-------------------------	---

<p>リクエストポスト</p>	<p>読書週間期間中、本のリクエストポストを設置し、読みたい本のリクエストを受け付け、購入図書参考とします。</p>
------------------------	--

<p>その他の活動</p>	<p>スタンプラリー、ぬりえコンテスト、しおりを作って渡す、本のプレゼント、週替わりクイズ、図書館キャラクターを作ろう、期間中の貸出数を1冊から2冊にする など。</p>
----------------------	---

学校ごとに様々な取組をして、子どもたちが読書に親しめるようにくふうしています。